

# 函館北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー テーマ  
インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

成田 豊 会長 テーマ “融和と柔軟を”

★会長 成田 豊 ★幹事 弗田和則

《第2629回例会》第23号 3月6日(水)

## 本日のプログラム

通常例会

2018~2019 <第2628回例会>

第22号 2月27日の記録

◎司 会 成田 豊 会長  
◎斉 唱 ロータリーソング、手に手つないで  
四つのテスト

◎ゲスト 函館市北消防署 署長 大倉 哲氏  
予防係 畑山 遼吾氏

◎会長報告 成田 豊 会長

○山下前幹事が亡くなりましてちょうど本日で1カ月です。まだそのドアを開けて入ってくるような気がしております。弗田会員に急遽幹事をお願いして、あと4ヶ月、6月までなんとかやっていたいと考えております。

2月13日、奨学生の規定について理事会を開催しました。すでに皆様のお手元に届いていると思いますが、案がまとまりましたのでよろしくお祈いします。2月22日第11、12グループの会長幹事会が開催されました。3月30日のIMについて、4つの議題が出されました。11クラブの会長が一人持ち時間5分で各クラブについて話すという提案でしたが、各クラブから時間的に短いのでガバナー補佐がまとめて中身のある話をされたほうがいいのかとの意見が出されております。

◎幹事報告 弗田 和則 幹事

○3月30日に開催されますIMは4月3日の例会の移

動例会となります。

◎親睦活動委員会 増田 定雄 委員長  
ニコニコBOX投入報告

成田会長・弗田幹事・森会員・阿相会員  
深瀬会員……北消防署の畑山さんを歓迎して。  
増田会員……雪が少なくて楽です。  
南木会員……ボックスに協力。

◎卓話「最近の火災や救急の概要」

函館市北消防署 署長 大倉 哲氏  
函館市消防本部は、昭和23年に消防組織法施行に伴い自治体消防として道庁から函館市へ移管されました。過去の火災件数において最大であったのは昭和50年の220件、昨年は、発足以来最小を更新する59件でした。火災件数が少なくなった理由としては、住宅そのものの質が良くなったこと、住宅用火災警報器の普及といったことが挙げられます。

函館は明治以降100戸以上の火災が28回、1,000戸以上の火災が10回以上あり、中でも最大である昭和9年の大火は11,105戸・22,667世帯・416.3ヘクタールが被災、死者2,116名・行方不明者662名と、6,500名の犠牲者を出した阪神淡路大震災に匹敵する規模でした。この大火のあった日である3月21日は「函館大火の日」とされ、毎年慰霊祭が開催されております。

平成28年12月にありました糸魚川市における火災は



2月27日 卓話  
函館市北消防署 署長 大倉 哲氏  
予防係 畑山 遼吾氏

147戸、4ヘクタールが被災し、死者なしという内容でした。糸魚川市の火災原因は皆様ご存じのようにラーメン店のガスコンロでしたが、火災が発生して大きな被害が出る度に消防法は厳しくなります。糸魚川市で発生した大規模火災を受け、今年の10月より小さなラーメン店にも消火器の設置が義務化されることになりました。建築基準法では過去の基準に適合していて、法改正後適合しなくなったものについては「既存不適格」ということで罰則の対象になりませんが、消防法は遡及しますので、その旨是非ご理解下さい。

次に救急件数について、出動回数は年々増加傾向にあります。昭和39年から開始後、昭和40年に約800件、現在は16,000件以上です。中には歯痛や不眠、飼い犬の不調といったケースもあります。現在救急隊が9隊、うち市町村合併前の渡島東部地区に3隊がおり、出動回数が全体の約3%にあたる800件であるため、残りの6隊で旧市内部分を受け持っている状況です。平成27年に本通出張所に1隊増隊しましたが、このころから比べても2,000件増加しています。今年は1月から件数が急増しており、年間18,000~19,000件のペースですが、西部地区の坂での転倒やインフルエンザ流行の増加が影響しているとの報告を受けています。1隊年間3,000件を超えると労務管理上の支障が出てきます。北海道で3,000件を超える隊は札幌と函館の本通救急隊、亀田本町救急隊だけです。救急車を要請しても到着まで時間を要してしまうこともあるかと思いますが、背景にはこういった救急件数の増加ということも一因として存在していると考えられますので、ご理解いただきたいと思います。

人工呼吸などの蘇生処置を勉強したいという意向がございましたら、消防本部の救急課で講習を行っておりますので、お申込み下さい。

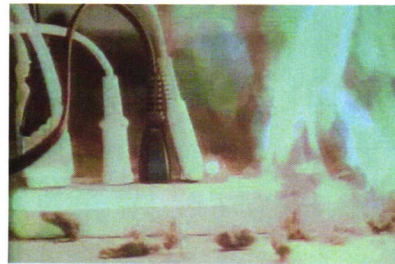
#### 「身近に潜む火災危険」予防係 畑山 遼吾 氏

予防係というのは、消防用設備設置について設備がついてる検査をする係です。

今回は、皆様にお話しするテーマとしては「身近に潜む火災危険」で話させていただきます。

#### 1. トラッキング

トラッキングとは、コンセントや差し込み口にたまった綿ぼこりなどから出火する現象です。住宅だけではなく事業所でもかなり起こる可能性の高い現象です。誰もいないところで出火してしまうことがこのトラッキング現象の一番恐ろしいところです。旅行など長期で家を空けるケース等に発生してしまうと、中に入って活動できない、鍵が開かない等消火活動に至るまで時間を要してしまうことが懸念されます。最終的に進入が困難であればドアを破壊するケースもありますが、いずれにしても火災による被害は拡大してしまう恐れが高いです。長期間家を空ける際はプラグを外すと言った予防策をしていただくとともに、普段から整理整頓を心掛けるようにしていただければと思います。



#### 2. コンロからの出火

天ぷら鍋からの出火、水で消火を試みると炎が上がって延焼が拡大する危険が高くなります。もっとも正しい方法としては消火器による消火が望ましいですが、ない場合は濡れたタオル（バスタオル等の大きいもの）で、空気を遮断して消火することです。水をかけてしまったという事例は結構な件数ありますので間違っても、水をかけたりしないようお願いします。

(会報担当者：村井 茂 委員長)

## 80年の伝統・実績・信用を誇る 火災共済 山敷火災相互会

会長 増田 定雄

〒040-0061 函館市海岸町8-9  
TEL (0138) 41-1730 FAX (0138) 40-6406

(広告掲載：増田 定雄 会員)

#### ◎ 2月6日出席報告 (増山 正 委員長)

会員	19名	出席率対象会員	19名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	16名	当日欠席	3名
他クラブ出席	0名	出席合計	16名
出席率		84.21%	

#### 次回のプログラム

2019年3月13日(水)

通常例会

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番